

SSKP はれのちくもり

多摩棕櫚亭協会 賛助会通信 第136号



2021年度も半年が過ぎました。10月1日からの宣言解除で、棕櫚亭の各事業所も開所時間を通常に戻しました。とはいえ、まだコロナ前の日常が戻ったわけではありません。今後は国や都が決めたリバウンド防止期間にならって、様子を見ながら段階的に戻すところを決めていきたいと思っています。

振り返って昨年度は、新型コロナの感染の波に心身ともに押しつぶされそうになりながらも、「できることをやる」で走った1年でした。ここに昨年度の法人本部および各事業所の事業報告と、会計報告をいたします。



社会福祉法人 多摩棕櫚亭協会
常務理事 高橋 しのぶ

2020(令和2)年度 事業報告



法人本部

2020年度は、新型コロナウイルス対応に引き続き多くのエネルギーを注いだ1年となりました。しかし、早い段階で法人方針を経営会議で出したこと、またそれに基づいた決定事項を全体共有する流れを作ったことで、この未曾有の事態に大きな混乱なく対応することができたと感じています。

一番懸念された財政面については、4月の緊急事態宣言時に各事業所が閉所やサービスの縮小に踏み切ったことで予算を下回る懸念がありましたが、雇用調整助成金をはじめとした各種助成金の最大限の活用や、後期にピアスが新規利用者を積極的に受け入れたことにより、概ね予算通りの収入となりました。

その他の活動に関しては、主に後期から通常通りの動きを取り戻していきました。2019年度から取り組んでいる「ビジョン・中長期計画作成プロジェクト」については、コロナにより中断したこともあり、改めて職員全体で経過の共有や、コロナ禍の今にじっくりくるかどうかを丁寧に話し合う機会をもちました。また、開催できなかった法人報告会に代わる活動報告書作成、災害対策（BCP作成含）、テレワーク導入について、それぞれ事業所を横断したプロジェクトを立ち上げ取り組みました。コロナ禍での報告書は「こんな時期によく作りましたね」と身近で連携している方々から言っていただき、棕櫚亭の活動全体を知ってもらう機会にもなりました。また、本部ビルを使っただけの避難所シミュレーションは回を重ね、2021年度のBCP作成の基礎資料になりました。さらに常勤職員に貸与された携帯電話による体調管理やスケジュール管理システムが導入され、コロナ禍はもろろ日常的なスケジュール調整にも役立っています。そしてなにより、集合型研修を行えない中で、この各プロジェクトが人材育成、他部署の職員と組む機会として機能したと感じています。

また、こども食堂「おいしい時間」については、テイクアウト式のスタイルに変えながら活動を継続し、コロナ以前より多くの弁当を配布しています。この活動に参加して数年になりますが、コロナ禍によって潜在していた地域課題が顕在化してくるのをまざまざと感じています。棕櫚亭が次の5年で社会福祉法人として地域の精神保健福祉に何ができるのかを2021年度は具体的に詰めていく年となりそうです。

一方、本来の事業計画では地域状況の把握も含め積極的に外部とのつながりを強くし、合わせて法人の現状分析を行う予定でしたが、次年度に持ち越しとなりました。

最後にこのような1年でしたが、東京都から長年の棕櫚亭の活動が評価され、『女性活躍推進大賞』を受賞することとなりました。それに伴ったメディアからの取材の機会もいただき、外部への発信の機会となりました。

棕櫚亭Ⅰ（地域活動支援センター） 登録40名、新規利用者4名、退所者2名

棕櫚亭Ⅰは、20～70代と幅広い年齢層で、利用目的も様々な方が登録しているセンターです。昨年度は、最初の緊急事態宣言を受けての閉所期間と、その後多くの恒例行事や昼食作りなどのプログラムを全て自粛したため、メンバーに対して心苦しい場面の多い1年となりました。その分面接頻度を増やしたり、外来同行や多機関との連携を重点的に行うよう取り組みました。結果メンバーアンケートからみると、活動に対する感想は、コロナ禍での状況を勘案しても概ね良いものが多くありました。一方で、今後の課題がより明確になった1年でもありました。まずより幅広い利用者層になっていることで、支援方法が複雑になってきている点があげられます。また家族の高齢化により、家族を支える立場になったメンバーのストレスや不安が増加するケースが昨年より増加しています。

地域の精神保健福祉サービスを底支えする存在として、今後も増加が見込まれる多地域ニーズに対応するべく自分たちのスキルを向上させていく必要があると言えます。と同時に、そういった方たちに棕櫚亭Ⅰを利用してもらえるように活動内容の検討をしていきたいと思っています。



なびい（相談支援事業、指定特定・指定一般・自立生活援助事業、地域活動支援センター）

対象利用者 298名

2020年度はコロナの感染予防を第一に、どう事業活動を行うかに腐心した1年でした。特に前期は、1回目の緊急事態宣言下で大幅な活動縮小が必要となりましたが、面談の延期や開所時間の変更が必要な際には、丁寧な説明と代替手段でのフォローを心掛けました。そのかいあってか大きな混乱はなく、またなびいでの感染クラスターの発生もなく年度を終えることができました。このような状況下でも「新規相談」は年間37名であり、平時とほぼ変わりませんでした。その中でも自身が高齢または内科疾患等を抱えている方や、8050世帯、ひきこもり等々、他分野での連携が必要な相談は引き続いています。

一方「面談やケア会議」がコロナ前に比べて大きく減りました。これは電話相談への切り替え等を行い、必要最小限に留めたことを反映していると言えます。また病状悪化による入院となった方が8名おられましたが、共通して『支援チームができていない、または機能していない』という特徴があり、早めの把握や支援が困難な状況であったと考えられます。

地域活動支援センター事業では、コロナ禍であったことを加味しても参加人数の減少傾向がみられるため、特に新規利用者を中心としたニーズ分析と、それに見合うプログラムの検討・見直しの必要性を感じています。引き続き「相談」と「地活」の両輪でサポートしていく形を維持していきます。

国立市は、第6期しょうがい福祉計画の中で、『精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム』『地域生活支援拠点』『期間相談支援センター』についての整備計画を掲げています。こうした動きに、自立支援協議会への参画も含めて引き続き積極的に関与し、国立地域及び精神障害者のためのサービス充実に寄与したいと思います。

ピアス（就労移行支援・生活訓練・就労定着支援）

〔就労移行支援〕定員20名、平均利用者数15.4名/日、就職者数10名



2020年度上半期は、緊急事態宣言による閉所・在宅支援への切り替えが一番の大きな出来事でした。しかし実際の影響は前年度末から始まっていて、新規の見学や入所の停止が約4か月続いたことが、年度を通して利用人数の減少という形で大きく響きました。したがって、下半期は複数の方を同時に体験受け入れしながら、同時に感染防止対応も行うこととなりました。メンバーにとっては、企業見学や実習等の機会が激減し、採用面接もキャンセルが相次ぐという不安な1年間であったと思います。そのような中で多少の利用期間の延長はあったものの、予定していた人数が就職できたことはよかったですと感じています。また、この1年間プログラムの分散実施やオンラインの活用等の工夫を行ったことは、事業所の発想を広げることにつながりました。

新規受け入れは12名、生活訓練からの移籍が大きな割合を占めました。利用中断が減少したのは移行と生訓という2事業の住み分けの成果が出ていると言えますが、この『2事業を活用した就労支援』を前面に出した特色の周知については次年度への継続課題となっています。

〔生活訓練〕定員20名

コロナの影響を受けつつも、その期間を使って就労移行へと進む仕組みづくりに取り組んだ1年でした。この仕組みづくりは、『雰囲気の変化』等となって従来からのメンバーに負担を強いてしまったこともありましたが、例年以上に移行へ進む方が出たことはよかったですと感じています。移行と同様4か月にわたって新規受け入れがストップしましたが、年間で11名と例年と変わらない人数でした。企業からリワークの受け入れも2名行いました。

事業開始から7年。総括で現在までの実利用者の利用状況等を振り返ってみると、約半数の方が移行へ進む前に退所していることが分かりました。移行に進んでからの中断が大きく減ったことと関係していると思われますが、今後は中断要因を分析し、そうならない手立てについて考えていく必要があると感じています。

〔就労定着支援〕

事業開始から3年目を迎え、コロナ禍においても対面と在宅支援を柔軟に組み合わせて支援を継続しました。またオンラインOB会やピアス通信に加えて、ピアス便りをメール配信するなど、できることを探って取り組んできました。結果、概ね利用者の職場定着が維持された1年となりました。一方コロナにより契約更新が不可となったり、自宅待機が発生したケースが複数発生したりと、多かれ少なかれ就労状況に影響が発生したと言えます。

そのような中、年度途中で契約終了を迎えたメンバーは3名で、いずれも就労継続中です。利用メンバーの中には、給与所得が上がって自己負担額が発生するケースが出てきています。支援の質がよりシビアに問われていくことになると感じています。



オープナー（就業・生活支援センター）

2020年度のオープナーは、対面が基本の相談や訪問が大きく影響を受けた1年となりました。1回目の緊急事態宣言時には、開所に必要な人員以外は在宅勤務を行い、サービスについても縮小し、感染拡大防止に対応しました。その結果新規相談は6月からの再開となりました。コロナは社会への影響が大きいと同様に、障害者雇用に対しても就職活動、労働契約の更新、労働条件、就労へのモチベーションの低下、在宅勤務による新たな課題の顕在化など、様々な面で大きな打撃を及ぼしました。

そのような1年ではありましたが、年間を通じて面談や企業訪問、プログラムを対面とオンラインのハイブリッド方式で取り組み、支援の質を下げないよう努力しました。特に新規相談は件数が急増したこともあり、対応職員を増やして行いましたが、今年度は定着支援事業から引継ぎを求めるケースや就職が決まってからの定着の相談が目立っていました。定着支援については、雇用管理にまつわる支援や自宅待機の長期化による生活リズム、家族との関係についての課題が顕在化し、生活支援に苦慮したケースもありました。

東京都からの受託事業である『医療機関・就労支援機関モデル事業』『精神障害者就労定着支援連絡会』『中小企業応援連携事業』は、当初の目標を達成することができました。どの事業も実質の稼働期間が1年未満でタイトなスケジュールでしたが、それぞれの場面で各職員がチーム力を発揮し取り組んだと言えます。

最後に、2021年度は事業運営においてサービスの質を下げない工夫とともに、分断された地域の状況を把握し、ネットワークの再構築のために力を注いでいきたいと考えています。



2020(令和2)年度 会計報告

昨年度の会計報告となります。新型コロナの影響により、個別給付収入（ピアス）は大きく影響を受けましたが、助成金の活用や支出削減により以下のような決算となりました。なお、法人の経営情報は、棕櫚亭ウェブサイトにてご覧いただけます。

財産目録

令和3年 3月31日 現在

(単位:円)

貸借対照表	場所・物量等	貸借対照表価額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		46,769,553
事業未収金		28,089,480
未収金		-
未収補助金		30,788,000
立替金		426,868
前払費用		42,261
未収消費税		1,975,100
	流動資産合計	108,091,262
2 固定資産		
(1)基本財産		
土地	東京都国立市富士見台1丁目17番4	109,298,600
	東京都国立市大字谷保字御経塚4999-3及び5001-3	31,526,126
建物	東京都国立市富士見台1丁目17番4	65,626,794
	東京都国立市大字谷保字御経塚4999-3	8,831,649
	基本財産合計	215,283,169
	(2)その他の固定資産	78,223,422
	固定資産合計	293,506,591
	資産合計	401,597,853
II 負債の部		
1 流動負債		
	流動負債合計	18,830,734
2 固定負債		
	固定負債合計	1,000,000
	負債合計	19,830,734
	差引純資産	381,767,119

資金収支内訳表

社会福祉法人 多摩棕櫚亭協会

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

(単位:円)

		合計	本部	ピアス	なびい	棕櫚亭 I	オーブナー
事業活動による	収	就労支援事業収入	13,491,148	-	13,491,148	-	-
	入	障害福祉サービス等事業収入	192,900,259	11,878,500	84,872,120	23,961,948	19,765,910
	活	経常経費寄附金収入	460,140	460,140	-	-	-
	動	その他の収入	3,489,725	2,749,725	590,000	150,000	-
	に	受取利息配当金収入	1,707	1,178	464	19	17
	よ	その他のサービス活動外による収入	18,468,498	17,402,799	539,600	380,110	145,989
る		事業活動収入計(1)	228,811,477	32,492,342	99,493,332	24,492,077	19,911,916
収支	支	人件費支出	143,800,916	6,576,464	47,658,527	25,621,193	16,891,510
	出	事業費支出	10,340,638	3,997,388	4,766,443	266,810	734,907
		事務費支出	37,056,799	9,994,841	11,623,014	4,543,562	2,357,274
		就労支援事業支出	11,752,314	-	11,752,314	-	-
		その他の支出	600,000	600,000	-	-	-
		事業活動支出計(2)	203,550,667	21,168,693	75,800,298	30,431,565	19,983,691
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	25,260,810	11,323,649	23,693,034	-5,939,488	-71,775	
施設整備等による収支	収	施設整備等収入計(4)	-	-	-	-	-
	支	施設整備等支出計(5)	-	-	-	-	-
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-	-	-	-	-
その他の活動による収支	収	拠点区分間繰入金収入	32,255,873	22,500,000	-	5,939,488	71,775
	入	その他の活動収入計(7)	32,255,873	22,500,000	-	5,939,488	71,775
	支	長期運営資金借入金元金償還支出	1,000,000	1,000,000	-	-	-
	出	積立資産支出	19,500,000	19,500,000	-	-	-
	活	事業区分間繰入金支出	3,744,610	3,744,610	-	-	-
動	拠点区分間繰入金支出	28,511,263	6,011,263	22,500,000	-	-	
に		その他の活動支出計(8)	52,755,873	30,255,873	22,500,000	-	-
よ		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-20,500,000	-7,755,873	-22,500,000	5,939,488	71,775
る		予備費支出(10)	-	-	-	-	-
		当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	4,760,810	3,567,776	1,193,034	-	-
		前期末支払資金残高(12)	94,316,444	38,481,499	55,834,945	-	-
		当期末支払資金残高(11)+(12)	99,077,254	42,049,275	57,027,979	-	-

事業活動内訳表

社会福祉法人 多摩棕櫚亭協会

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

(単位;円)

勘定科目		合計	本部	ピアス	なびい	棕櫚亭 I	オープナー	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	13,491,148	-	13,491,148	-	-	
		障害福祉サービス等事業収益	192,900,259	11,878,500	84,872,120	23,961,948	19,765,910	52,421,781
		経常経費寄附金収益	460,140	460,140	-	-	-	-
		その他の収益	3,489,725	2,749,725	590,000	150,000	-	-
		サービス活動収益計(1)	210,341,272	15,088,365	98,953,268	24,111,948	19,765,910	52,421,781
	費用	人件費	135,419,206	6,008,894	44,910,797	24,296,117	15,971,020	44,232,378
		事業費	10,340,638	3,997,388	4,766,443	266,810	734,907	575,090
		事務費	37,056,799	9,994,841	11,623,014	4,543,562	2,357,274	8,538,108
		就労支援事業費用	11,752,314	-	11,752,314	-	-	-
		減価償却費	6,653,102	5,065,934	794,700	334,170	458,298	-
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-2,690,580	-2,690,580	-	-	-	-	
	その他の費用	600,000	600,000	-	-	-	-	
	引当金繰入費用	8,816,726	588,150	3,056,861	812,535	946,440	3,412,740	
	サービス活動費用計(2)	207,948,205	23,564,627	76,904,129	30,253,194	20,467,939	56,758,316	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	2,393,067	-8,476,262	22,049,139	-6,141,246	-702,029	-4,336,535	
サービス活動外の増減の部	収益	受取利息配当金収益	1,707	1,178	464	19	17	29
		その他のサービス活動外収益	18,468,498	17,402,799	539,600	380,110	145,989	-
		サービス活動外収益計(4)	18,470,205	17,403,977	540,064	380,129	146,006	29
	費用	サービス活動外費用計(5)	-	-	-	-	-	-
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	18,470,205	17,403,977	540,064	380,129	146,006	29	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	20,863,272	8,927,715	22,589,203	-5,761,117	-556,023	-4,336,506	
特別増減の部	収益	拠点区分間繰入金収益	32,255,873	22,500,000	-	5,939,488	71,775	3,744,610
		特別収益計(8)	32,255,873	22,500,000	-	5,939,488	71,775	3,744,610
	費用	事業区分間繰入金費用	3,744,610	3,744,610	-	-	-	-
		拠点区分間繰入金費用	28,511,263	6,011,263	22,500,000	-	-	-
		特別費用計(9)	32,255,873	9,755,873	22,500,000	-	-	-
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	-	12,744,127	-22,500,000	5,939,488	71,775	3,744,610	
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	20,863,272	21,671,842	89,203	178,371	-484,248	-591,896	
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	101,132,066	60,287,815	44,699,286	147,308	-1,181,500	-2,820,843
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	121,995,338	81,959,657	44,788,489	325,679	-1,665,748	-3,412,739
		基本金取崩額(14)	-	-	-	-	-	-
		その他の積立金取崩額(15)	-	-	-	-	-	-
		その他の積立金積立額(16)	19,500,000	19,500,000	-	-	-	-
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	102,495,338	62,459,657	44,788,489	325,679	-1,665,748	-3,412,739	

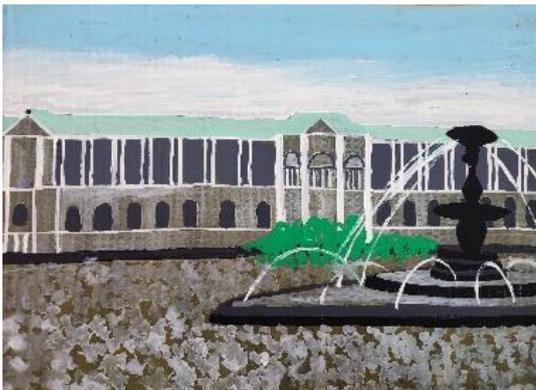


棕櫚亭 I の絵画作品がポストカードになりました

皆さまにも一枚ずつお届けいたします。ぜひご鑑賞&ご活用ください。

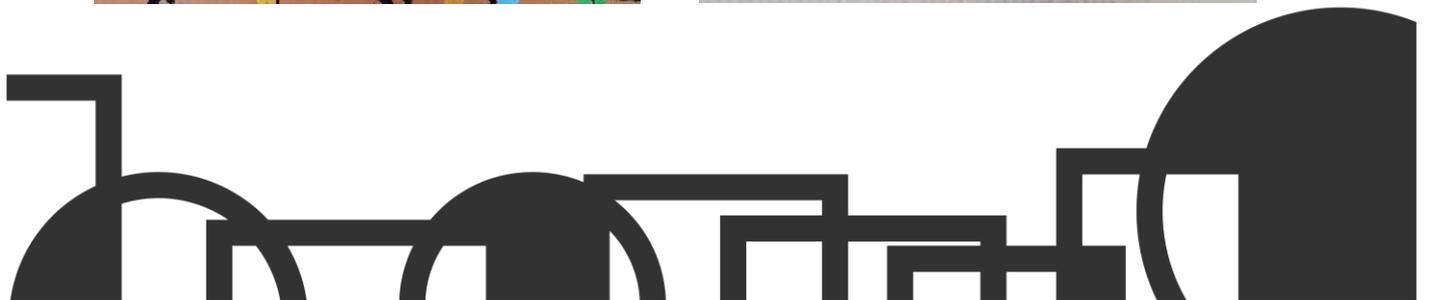
棕櫚亭 I では、小堀玲子先生を講師にお迎えして月2回の絵画教室を開講しています。

長年ご尽力いただいている小堀先生は、立軌展や海外国際交流展や個展で幅広くご活躍され、区内には絵画教室もお持ちの方です。メンバーの個性を伸ばし、自由に表現するご指導をいただいてメンバーそれぞれが個性あふれる素敵な作品を毎週制作しています。おかげ様で絵画教室だけでも参加したいとの声をいただくほど好評です。



例年、絵画展やワークショップを開催、2020年には立川伊勢丹で開催された「多摩立川障がい者作品展アールブリュット立川」に出展参加など活動を行っていましたが、今年はコロナ禍により残念ながら大きな展示会は自粛中です。

コロナ禍の状況を考慮しつつ展示会等を再開できる日を心待ちにしておりますが、その節はチラシやホームページでの告知を行いますのでどうぞご来場ください。





新型コロナウイルス対応に関するお知らせ



10月1日に緊急事態宣言が解除されたことをうけ、法人として今まで行ってきた対策の一部を緩和していくこととなりました。各事業所の開所時間は通常に戻りますが、ラッシュ等を避けるため、利用時間の短縮やオンラインの併用、テレワーク導入などは引き続き行っています。

また、安心して利用していただくためにも、今まで通り、マスク着用・検温・手洗い消毒の実施や、換気・3密防止の徹底など、基本的な感染予防対策にご協力をお願いします。皆様にはご不便をおかけします。

また状況に応じて変更する場合がありますので、最新の詳細に関しては、ホームページをご覧ください。各事業所までお問合せください。

棕櫚亭Ⅰ

開所時間は9:00-17:00に戻りますが、当面は16:00までの利用にご協力ください。昼食は棕櫚亭Ⅰで召し上がっていただけるようになりました。一日通所も再開しています。

なびい

10:00-18:00の開所時間に戻ります。フリースペース：14:00-18:00 引き続き、最大5名まで、1時間程度を目安にご利用ください。

ピアス

開所時間は9:00-17:00に戻ります。引き続き3密や交通機関の混雑を避けるため、10:00-14:45のトレーニング時間は継続し、当面の利用時間は16:00までを目途にしていきます。定着支援事業のOB会はピアスでの開催を再開しますが、オンラインでの参加も併用し工夫していく予定です。

オープナー

開所時間 10:00-18:00
訪問や18時以降の面談はオンラインも併用し、ラッシュ時を避けた対策を行います。談話室は引き続きオンラインで開催します。またSPJは休日の日中に行うため、集合式に戻っていきます。

2021（令和3）年度 賛助会費 ご案内&お礼

賛助会員の皆様には、いつもご支援賜り厚くお礼申し上げます。

前月号（2021年3月号）にて、今年度（2021年/令和3年度）賛助会費のお振込み用紙を同封いたしましたところ、多くの会員の皆様にご支援頂きました。いつも大変ありがとうございます。

今後とも、個人会員様 2000円、団体会員様 5000円からにて、引き続き変わらぬご支援を頂けましたら幸いです。何卒よろしく願いいたします。

お振込先

金融機関名 ゆうちょ銀行
口座名義 （社福）多摩棕櫚亭協会賛助会
口座番号 普通 00110-2-425269



社会福祉法人

多摩棕櫚亭協会

ウェブサイトにて
最新の情報をお届けしています。

☞ 『棕櫚亭』で検索
www.shuro.jp



【編集】 国立市富士見台1-17-4
社会福祉法人 多摩棕櫚亭協会
はれのちくもり編集委員会
Tel 042-575-5911

【発行】 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会
〒157-0072 世田谷区祖師谷3-1-17-102
Tel 03-6277-9611

【定価】 100円

